

xEV・LIB・LIB 構成部材の市場動向

—中国・欧州・米国・日本の4市場の展望—

講師：佐藤 登氏 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授
エスベック（株）役員室 上席顧問 工学博士

米国 ZEV 規制と欧州 CO2 規制を始め、中国ではエコカー政策と NEV 規制が 2019 年に発効している。NEV 規制では日本が得意としているハイブリッド車 (HEV) はクレジット対象から除外されてきたが、19 年 7 月に見直しを掛け、21 年から HEV も優遇する方針転換を図った。しかし一方、欧米では 35 年に HEV に対する販売規制を打ち出している。このような状況下で、自動車業界、電池業界、部材業界はしたたかな戦略が必要とされている。各業界の EV シフトに対応する積極投資もあり、22 年以降を見据えてグローバル競争が激化する。

本セミナーでは、国内外における自動車業界の動向、リチウムイオン電池および関連部材の市場・技術動向、さらには各業界に求められる対応・戦略等について述べる。

一方、安全性にまつわる事故はこれまでも多発し、最重要課題にもかかわらずまだ課題を残す。安全性や信頼性はサプライチェーン上にかかわる全てのメーカーに責任が及ぶ恐れがあり、電池メーカーのみでなく部材メーカーも意識しておく必要がある。ここでは、電池の安全性評価法や国連規則に対応する試験各種とともに、最近の安全性にかかわる現況について言及する。

そして、車載電池の再利用とリサイクルは今後の循環型社会を構築する上で極めて重要なビジネスとなる。2020 年 12 月には EU 電池規制案が公表され、かなりハードルの高い数値目標が打ち出されており、そこには解決すべき課題が山積する。再利用の実態や元素リサイクルに向けた各国の状況と日本の進め方を議論する。

また、トヨタを中心に全固体電池、次世代電池の研究開発も全世界的に活発になっている中で、その期待度と課題についても触れる。

最後に、リチウムイオン電池に関する日本の各業界における課題を整理し、その解決策についても述べ、その中で政府が支援すべき事項について提言している内容も紹介する。

【講師略歴】1978 年横浜国立大学大学院工学研究科電気化学専攻修士課程修了後、本田技研工業に入社。89 年までは自動車の腐食防食技術の開発に従事。社内研究成果により 88 年に東京大学工学博士。90 年に本田技術研究所の基礎研究部門へ異動。電気自動車用の電池研究開発部門を築く。99 年から 4 年連続、および 2018 年、19 年、20 年、21 年にも「世界人名事典」に掲載される。栃木研究所チーフエンジニアであった 04 年 9 月に、韓国サムスン SDI 常務に就任。09 年 8 月までの 5 年間は中央研究所にて技術経営にあたる。09 年 9 月から本社経営戦略部門に異動と同時に、逆駐在の形で東京勤務。12 年 12 月にサムスン SDI 退社。13 年から現職。近著に「電池の覇者」日本経済新聞出版、2020 年 9 月 23 日刊行。

開催日時	2022 年 7 月 4 日 (月) 13:30~16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	44,000 円 (税込) ※資料付	
	*メルマガ登録者 39,600 円 (税込) *アカデミック価格 26,400 円 (税込)	

*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。
★【メルマガ会員特典】 2 名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、1 名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。
★【セミナー対象者】 自動車業界、電池業界、部材業界、電池製造業界、試験機器業界などのエンジニア、企画部門やマーケティング部門従事者等
★【得られる知識】 電動化に伴う各種規制、自動車各社の対応、電池業界の現状と今後、部材業界の現状と今後、安全性にまつわる事故とその要因、欧州発のリサイクル規制とリサイクル技術、次世代革新電池の研究開発、政府の支援策、各業界に求められる戦略と対応

【本ウェビナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 自動車電動化の法規動向と対応	5.2 国連規則と認証事業
1.1 米国 ZEV 法規発効からの電動化の流れ	5.3 エスベックの受託ビジネス・認証ビジネス
1.2 各国の環境規制と電動化の加速	5.4 ECE R100 Part II の試験項目と事例
1.3 中国の電池政策～NEV 規制の方針転換の影響	6. 定置型蓄電池ビジネスの現状と今後
2. 自動車各社の取り組みと電池戦略	7. 車載電池の再利用とリサイクル
2.1 トヨタ自動車	7.1 再利用の事例と課題
2.2 ホンダ	7.2 再利用にあたっての取り組むべき事項
2.3 日産自動車	7.3 EU リサイクル規制案
2.4 欧米韓自動車各社の動向	7.4 元素リサイクルの必要性と課題
3. LIB 業界のビジネス動向と今後	7.5 国としてのリサイクル事業への支援
3.1 各国の電池産業の現状と課題	8. 次世代革新電池の研究開発状況と課題
3.2 電池業界における競争力比較	8.1 期待される次世代電池
3.3 経済安全保障としての国別電池産業戦略	8.2 全固体電池の現状と課題
4. LIB 部材の変遷・市場動向	9. 日本の各業界における課題と対応策
4.1 各部材ごとの課題	9.1 自動車業界
4.2 日系部材の急激なシェア低下の現状と背景	9.2 電池業界
4.2 中国部材メーカーの躍進が及ぼすサプライチェーンの変遷	9.3 部材業界
5. LIB の安全性評価と受託試験・認証事業	9.4 投資に対する国の直接支援の必要性
5.1 車載用電池の事故・リコールの歴史	

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	xEV・LIB・LIB 構成部材の市場動向		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	会社名 (団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法		銀行振込 ・ その他	氏名
		お支払予定	2022 年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。
 ■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。
 ■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL 03-3293-7053
 ■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

xEV・LIB・LIB 構成部材の市場動向

—中国・欧州・米国・日本の4市場の展望—

講師：佐藤 登氏 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授

エスペック（株）役員室 上席顧問 工学博士

当該セミナーは、ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）です！

【ライブ配信対応セミナー】

- ・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- ・当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- ・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ・ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- ・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- ・開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- ・事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- ・セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- ・講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- ・資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- ・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- ・Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- ・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が悪くなる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- ・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- ・本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- ・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- ・Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。